

大阪府立農芸高等学校 令和3年度 第二回学校運営協議会

事務長・校長・教頭・首席（3名）

進路部長・保健部長・P科科长

同窓会会長：田中様 学園長：中曽様 農業大学校：中井様 PTA会長：千葉様

司会進行：教頭

- 1 学校長挨拶
- 2 学校運営協議会委員 挨拶
- 3 協議

①学校経営計画について

校長より説明（今年度重点項目及び学校経営計画における主要項目の進捗状況）

【委員】

「いじめ事案について、保護者も意識が高い。本校では学期に一回アンケートを実施している。高校ではどうなのか、またどのような対応をされているのか」

【教頭】

「教育委員会からの指示で年間二回。また本校独自のアンケートも実施している。担任や支援委員会にて実施している。アンケートの中から担任等が聞き取りを行っている。

調査をもとに、いじめかどうかの状況判断をしている。いじめと判断しなかった事案もある。いじめとしては、SNSの事案もある。SNSをすべてを把握するのは難しいが、生徒の学校に向けての訴えをいかにきちんと聴くかを大切にしている。」

【委員様】

「めざす学校像の中で多様な可能性を模索している。進路指導はどのようになさっているのか？」

【進路部長】

「1年生では4月のガイダンスで自分の進路について考える心構えを説諭。10月にHRでさらに深める。12月に外部講師から進学についての講話をしていただいている。1月には職業分野についての体験学習を実施。

2年生では10月に進路体験学習を実施。学部や学科に分かれている。12月に就職希望者に対しての説明会を実施。（今年は55名参加）1月には進学希望者に対しての説明会。年間で5～6回ガイダンス等を実施している。」

【委員】

「個別の面接を設ける機会等は各学年にあるのか？」

【進路部長】

「新学年になった際、担任と面談を行い、状況等の把握をしている。個別の対応としては、公務員希望者等は集めて指導を行っている。就職希望者については2年生の2月に指導を行う。」

【教頭】

「実業の教員が実習の中で手厚い指導を行っている。様々な教員が指導支援を行っており、様々なところでアプローチをかけている。」

【首席】

「農業高校が他府県に比べ大阪は少ない。そのため、様々な分野の農業がまとまって入っているため、様々な進路に対応できている。」

【委員】

「生徒たちは情報量が少なく情報収集する方法が難しい。同窓会として社会にでた方や現在就かれている仕事について等、HPを活用してアップしていこうと考えている。

獣医等に進学するものは、農芸高校の基礎学力だけでは不十分。

大学に入ってから苦労している人たちの話などを知ることによって早い段階で進路について考える機会になれると思われる。」

【校長】

「モデルになる人が多くいる。卒業生の方から話を聴く機会を設けていきたい。」

【委員】

「この学校を選んだ段階で、夢を持って入学した子が多い。体験してみて気持ちが変わる子もいる。自分の将来をみつめることが身近にできていると感じられる。そのような子たちに寄り添っていただけたらありがたい。現状もやっていただいているので、ありがたい。

残業が減らないことについて。業務整理をしないとかわらない。業務の見直しをしないと変えられないと思う。」

②第一回「授業アンケート結果」について

教頭より授業アンケート結果について説明

第2回アンケート結果については、第三回協議会にてお伝えする予定。

特に意見なし。

③今年度の活動について

・校内の工事について

水禽舎について（資源動物科） 喜多村首席より報告

鶏舎と水禽舎、食鳥処理棟の新築工事を行っている。家畜伝染予防法に見合った農場作り。本校での新築工事は三十数年ぶり。加工品を独自ブランドとして出せるようにしていきたい。そこから生徒のさらなる学びを深めさせたい。工事は遅れている。

・ブロック塀の改修工事 事務長より説明

在校生に支障がでている。対応はしているが、今後のためにもきちんとした工事をしなければならないと考えている。

・学校生活全般について 教頭より報告

①学校行事について

特に変更なし。ほぼ実施している。コロナ対応としては体育祭については生徒のみの実施。農芸祭については生産計画があるため、夏（9月）までに決定しなければならず、保護者2名と判断。修学旅行については、北海道に12月14日～17日でスキーを実施。

②生活指導面について

コロナの影響かはわからないが、生活指導案件が多い。生活指導面での指導が難しい。中学校でも指導できていない生徒が入学してきている。これから学校としても指導の方針を見直し、徹底していきたい。

コロナ対策として全校一同に伝える機会がなかなかできない。一つ一つ対応していかなければならないと考えている。（校長）

③今年度の進路状況 進路指導部長より報告

就職 9月16日（第一次）～34名中29名内定。

その後、5名中アルバイト継続や自己開拓者がでてきた。また進学希望から就職に希望を変更した者もあり、12月現在35名の就職内定者がいる。

進学：国公立7名（鳥取1、島根1、愛媛2、徳島1、宮崎1、鳥取環境1）合格

指定校や総合型選抜についても合格者あり

近畿大農学・生物理工学部の指定校推薦枠があり、生物理工学部に1名受験。等

④ICTの導入について 教務部長より報告

一人一台タブレット端末の配布以降

授業での活用が増えてきている。生徒のほうを使い慣れている。

ネット環境や活用の仕方などご家庭にご負担をかけている問題点もある。

⑤食品加工科の状況 食品加工科科长より報告

そこまでコロナ禍の影響を受けなかった。専門学校を選択する生徒が多い。

加工場が4、50年前のままで、製造許可がおりない。学校外での発表ができず評価していただけないのが残念という状況。

食品メーカーとコラボ。製造開発に協力。現在スナック菓子紅生姜天味販売中。

4 その他

意見・感想

【委員】

「学校経営計画をみて今年度の活動内容もよくわかった。大阪府の農業大学校も同じような悩みをかかえている。生徒指導案件が増えた。うつ症状の生徒が突然が増えた。対応をどのようにすればよいのかと悩んでいる。参考にしていきたい。」

【委員】

「生徒一人ひとりに寄り添っているのがよくわかった。先生方の働き方改革について、超過勤務については、生徒の前にたつ先生がしんどい状況はいけない、先生方が笑顔で働ける環境づくりをぜひ作って欲しい。堺市教育委員会は先生の業務の一部を外部委託してもらおうという方針でやっている。府立でもできればよいが。」

【委員】

「動物の管理作業と指導があり、先生方はどちら大変である。コロナの影響を感じたのは、2年生の生徒が3年生のプロジェクトについて批判的であった。通常であれば、先輩が経験を伝えて指導していたが、コロナによって3年と2年の経験する時間があまり変わらなかったため、関係性が崩れているのではと感じた。3年生は経験ができなかった分かわいそうと感

じた。2年生ももう少し心を広くもって、人間関係の構築の仕方を学んでほしいと感じた。」

【委員】

「工事について。配慮していただいている。けががないようにしていただけたらと思う。」

次回予定

2月中旬を予定。1月中旬に連絡予定。